



学校だより

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yokohamafukayadai>

令和3年10月29日

11月号

横浜市立横浜深谷小学校

校長 角井 治朗

心を一つにした経験を次の一步に

校長 角井 治朗

雲一つないさわやかな秋晴れのもと、10月23日(土)に今年度の運動会「ヨコスポ2021」が行われました。感染症拡大防止へ配慮をする一方、できるだけ多くの子ども同士の間接的に関わる場や高学年がリーダーシップを発揮する場の確保などを考え、今年度は3学年ずつ、2ブロックに分かれての実施といたしました。久しぶりに異学年同士がしっかりと協力し、それぞれが力を出し合ったり、お互いの頑張りを認め合ったりしながら、充実した時間を過ごすことができました。また、参観される方の制限を設けさせていただきましたが、保護者の皆様、学校運営協議会の方々にもご参観いただき、温かく見守っていただきました。そして、PTA役員や委員の皆様にもたくさんのお力添えをいただきました。多くの方々の思いに支えられ、ヨコスポ2021を終えることができました。本当にありがとうございました。

分散登校が明けて3週間、短い期間ではありましたが、子どもたちはこの瞬間を楽しみに、一生懸命準備に取り組んできました。各学年の練習だけでなく、学年をこえて仲良くなるために交流を行ったり、ブロックを超えて5年生が6年生の演技を見たりするなど、ヨコスポ当日だけでなく準備の段階から、この貴重な機会をできる限り活用して、子どもたちが関わり合う場をつくってきました。すばらしかった5、6年生のリーダーシップ、最後まであきらめずに全力を出し切る姿、がんばる友だちを一生懸命応援する姿の一つひとつに、こうした取組の成果が表れていたと感じます。そして、後日、各クラスで行った振り返りの様子を見てみると、「6年生になったらあんなふうになれるかな。」「ほかの学年や友だちががんばっているのがとてもすごいと思いました。」「練習したせいかがはっきできて、負けてもえがおでいられました。」「5年生は協力や応援が上手にできていてカッコ良かったです。」「他の学年のお手本になれたと思いました。」「協力が大切なことが分かった。日常でもみんなと協力できるようになりたい。」「6年生のソーラン節はテレビ放送をしてまで見てもらえたことに感謝です。」「今までで一番自分たちで行動でき、やり切ったと思えました。」等々、その言葉一つひとつの中には、子どもたちの達成感や学び合い、成長する様子、感謝などたくさんの思いがあらわれていました。

「ヨコスポ」という一つの目標に向かってみんなで心を一つに取り組むことで、子どもたちは大きな感動や学びを得ることができたと感じると共に、改めて、多くの人との関わりが子どもたちの成長に欠かせないものであることを実感します。この経験を子どもたちと共に大切に、次への一歩につなげていくことができるよう、職員一同、取り組んでいきたいと考えています。引き続き、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。